

年 組 () 名前

サイン



◆ 山や野原に生えていて、食べられる植物のことを「山菜」といいます。石川県小松市の山の麓では、春の山菜が顔を出し始めました。

小松に春の息吹

(2026年2月22日 読売新聞石川版より)

※先生やおうちの人と
いっしょに読みましょう。

【1】写真の山菜はなんとよばれていますか。

--	--	--	--	--

春の山菜を代表するフキノトウが、小松市滝ヶ原町で、雪どけとともに地面から顔を出し始めた。鞍掛山（標高477㍎）の麓にある同地区ではこの時期、フキノトウは天ぷらや味噌和えにして楽しむ。住民によると今冬は雪が多く、まだ残るところもあるため、例年に比べて2週間ほどフキノトウの出現が遅れているという。3月中旬にピークを迎えそうだ。

【発展問題】山菜には、ほかになにがありますか。うらに山菜の名前や絵をかきましょう。

年 組 () 名前

サイン

◆日本には酒やしょうゆ、みそなど多くの発酵食品があり「発酵大国」と言われます。なぜ、それほど多くの発酵食品が生まれたのでしょうか。(2026年2月19日 読売新聞朝刊より)

微生物が作る「ふるさとの味」

発酵食品は、カビ、酵母、細菌といった微生物を利用して作ったもので、うまみが増したり保存が利くようになったりする。腸内環境を整え、免疫力を上げる効果も確認されている。

滋賀県の代表的な郷土食「ふなずし」はその一つで、平安時代中期の文献にも登場する。同

県では、今でも体調の良くない時に、薬代わりに食べる習慣がある。京都華頂大の橋本道範教授(歴史学)は「この地では、古くから健康管理の上でも欠かせない食品だった」と話す。

北海道の「飯寿司」、福岡県の「辛子明太子」……。日本には、ふなずし以外にも食材を発

酵させて作った郷土食が各地にある。

国内各地で発酵食品が生まれた理由について、発酵学者の小泉武夫・東京農業大名誉教授は日本の気候が温暖湿潤であることを挙げる。発酵に利用される微生物は20~40度の温度で活動が活発になる。また、稲作が盛んなことも影響した。例えば、酒造りに利用されるこうじ菌は、秋の収穫時の稲に多く生息していた。

小泉名誉教授は「日本には気候などによって発酵に関わる微生物が自然と集まった。人々は生活の中で役立つものを見定めるようになった」と説明する。

全国にある様々な発酵食品

① 長期発酵させた

② 北海道 魚と野菜を米こうじに漬けた

③ 福岡県 塩漬けしたスケトウダラの卵巣を、唐辛子などに漬け込んだ

静岡県 わさびの葉や茎、根を酒かすなどに漬けた「わさび漬け」(農林水産省「うちの郷土料理」提供)

石川県 イワシで作った魚醬「いしる」

山梨県 米こうじと麦こうじを混ぜて造る「甲州味噌」(いずれも農林水産省「につぼん伝統食図鑑」提供)

発酵に関わる主な微生物 アオカビ、カツオブシ菌など

パンを作る「イースト」や、日本酒の「清酒酵母」など

乳酸菌や納豆菌など

(写真①は滋賀県提供、③は福岡県観光連盟提供)

【1】日本の各地で多くの発酵食品が生まれたのはなぜでしょう。

【2】図の①~③に入る発酵食品の名前を書きましょう。ほかの地域の発酵食品のことも調べて書きましょう。

答えはうらに書きましょう。

年 組 () 名前

サイン

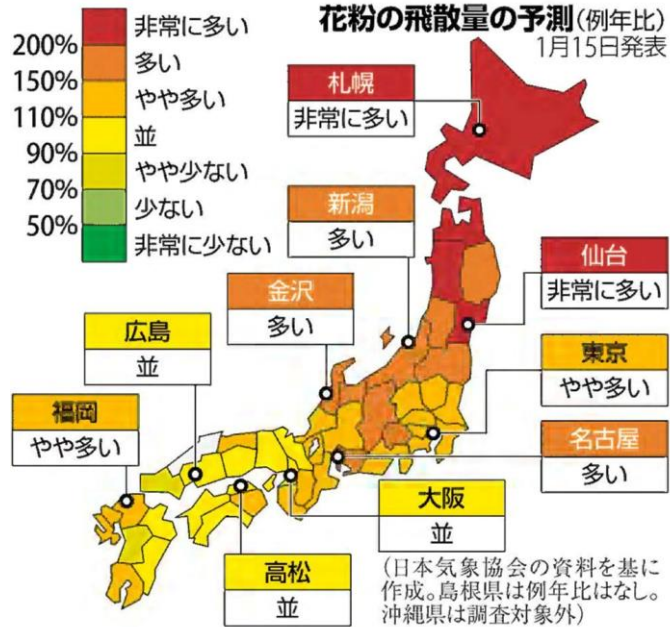
花粉 北海道・東北で多そう

花粉症は植物の花粉が原因で起こるアレルギー疾患。体内に入ってきた花粉に対して体が過剰な免疫反応を起こすことで、くしゃみや鼻水、目のかゆみなどの症状が出る。

原因の7割とされるのがスギの花粉だ。昨年の夏は全国的に高温・多照となり、花粉を飛散させるスギの雄花の生育に「好条件」だった。環境省が昨年11、12月に全国の林齢25～60年のスギ林を対象に生育状況を調べたところ、雄花の芽の数は北海道、大阪、奈良では例年の3倍超。京都、徳島、山形、静岡、愛知、鳥取の6府県でも2倍を超えていた。

花粉症に悩む人は増えており、10代も無縁ではない。

民間の気象情報会社「ウェザーニューズ」が行った調査では、花粉症だと答えた人を年齢別に見ると10代が71%で最多、20代が67%で続き、若い年代の方が他の年代より発症率が高かった。



政府も深刻な国民病の解決を目指し、23年に花粉症対策を策定している。スギの人工林のうち飛散量が多い樹齢20年以上が9割を超えていることから、10年後に2割減、30年後に半減させることを計画。伐採や花粉が少ないスギへの植え替えを進めている。

(2026年2月20日 読売中高生新聞より)

◆国民の4割超が悩まされている花粉症。今年のスギ花粉の飛散量は北海道や東北で例年と比べて2倍以上と予測されています。

【1】今年のスギ花粉の飛散量が、例年より多いと予測される理由を書きましょう。

【2】スギ花粉の飛散量を減らすため、政府はどのような取り組みを進めていますか。

【発展問題】花粉症の人が、自分でできる対策を調べ、裏に書きましょう。

年 組 () 名前

サイン

◆今井さんが重視する三つの用語

記号接地

地面に接することで人が歩けるように、言葉が生身の現実と密着しながら、自在に使えるようになる状態。身体世界を欠く人工知能は、根本的に記号接地に至らないとされる

アブダクション

理詰めえんえきの演繹(ディダクション)や、多くの事例から導く帰納(インダクション)といった推論でなく、データが少なくとも仮説を立てる推論。実は科学研究でも見られる

スキーマ

人の知覚に不可欠な枠組み。『英語独習法』は、巨大な全体の一部が海面に頭を出す氷にたとえ、言葉で説明できるわずかな知識の下に『豊かな知識のシステム』があるとする



今井むつみさん

「言葉は血肉をなくして骨だけになった情報のようなものです。伝えたいことは満足に伝えられない。聞く方はそこから相手が言っていることを再構成しないといけない」ところが人は言葉を使いこなし、読み書きも会話も問題なく成立しているように感じる。だから、学校も組織も、丁寧に伝え、教えれば、相手に伝わり、学んでもらえる、という前提で運営されてきた。しかし、それは、思い込みかもしれない。これが今井さんの大きな問いかけだ。

言葉の理解 ミスと補正から

「手早く結果」求めぬ社会を

◆ベストセラー『言語の本質』の著者で慶応大教授を務めた認知心理学者、今井むつみさんは「丁寧に話せば伝わる」は思い込みかもしれない、問いかけています。

編集委員 清水美明

「ウサギ」という言葉でさえ、子どもは限られた事例から、つまり点から、自分の推論で面を作り、やっと理解できるようなのです。意味がわからない子どもは、大人の導きとは無関係に、目の前のこれもウサギかな、と当てにかかると。今井さんが注視してきたのは、たわいもない一歩だ。この一歩は外れ

ることもある。それでも、外れとその補正を通して面が作られ、「言葉は延長された自分の体のように使えるようになる」。今井さんが記号接地(左上に用語説明)と呼ぶこの段階になって始めて、子どもは、その言葉がわかる。外から与えられるのではなく、教える一歩づの関係によってもなく、裏づけもなく、一人でやる未知の闘への一歩。今井さんは、この一歩が、100年以上前に哲学者パスがアブダクション(左上参照)と命名した推論の形と同じだと気づいた。

それは、辻褄にこだわらず仮説を立てる力であり、人間の性向でもある。幼少期から備わり、大人になってもぬぐいがたく、しみついて離れない。

言葉の理解には、点の体験と推論から面を作る必要がある。物事に対しても、体験を通して面を作る。今井さんによれば、これらの面を組み合わせ、いわば知識の枠組みを構築することで、人は対象が理解できる。この理解のツールは多くの人に共有されることで、共通理解も生み出す。それは自覚されないが、欠落なら思い当たる。新書『英語独習法』は、不可算名詞(頭にaを付けない)を例に、日本語話者がいちいちこの不可算名詞につきまぐのは、「完全に身体化され、無意識に働

く」ような理解のツールがないからだと指摘する。心理学者がスキーマ(左上参照)と呼ぶものが、だとするなら誤答は、数え理解するスキーマを持ってないまま、独自に組み立てたスキーマに基づいて導いた、彼らなりの結論だ。

人は、思いつきの一歩で仮説を立て、ミスを重ねて進化してきた動物で、その社会には、異なるスキーマを持つ人が集まる。ミスは繰り返され、会話は誤解を生み、またミスが起こる。今井さんの仕事から得られる人間観だ。となれば、これを防ぐと称し、仕組みを作り変え、ルールを設けて片づけるほうかむしろ誤答だ。ミスをやらかす人を肯定し、その人の根っこにあるスキーマを手探りし、会話を続けるしかない。

(2025年10月25日 読売新聞朝刊より)

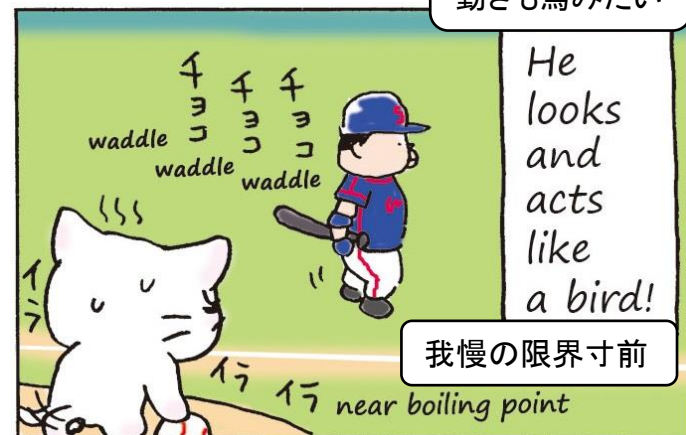
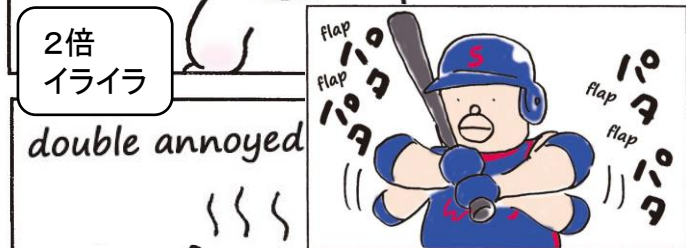
【1】今井さんが「丁寧に話せば伝わる」は思い込みかもしれないと考える理由をまとめましょう。

Blank box for writing answers to question 1.

【2】言葉を理解するにはどうすべきだと今井さんは考えていますか。裏に書きましょう。

年 組 () 名前

サイン



◆ミー太郎が苦手とするニタトリ選手は、見た目だけでなく、しぐさも鳥のようです。ミー太郎のイライラは徐々に募ります。

アノイド
annoyed

イライラした 怒った

「怒る」には「angry」など、様々な表現があります。「irritated」もannoyedと似た意味で、イライラした状態を表します。

★こんな表現も使ってみよう★

- irritated (イリテイテイド)
- frustrated (フラストレイテイド)
- イライラする
- get on one's nerves (ゲット オン ワンズ ナーヴズ)
- むかつかせる イライラさせる

単語帳

waddle: よたよた歩く boiling point: 沸点、我慢の限界

★なぞってみよう★

annoyed

irritated

未来をカタチに変え、リードする力を

情報技術が急速に進歩するいま、求められるのは専門的な知識を社会やビジネスに応用する、問題解決型のアプローチです。情報学を起点に、あらゆる文脈において人間を中心に据えた価値を創出するリーダーを育成する。それが、龍谷大学情報学部がめざす教育のあり方です。地域や社会と深くつながり、課題に気づき、自律的に問いを立てる姿勢を養う。文理の枠を超え、自らの興味や課題を学びと掛けあわせ、独自の価値を創出する。応酬を測ってリーダーシップを磨き、社会実装を見据えた解決策を構築する。未来の共通言語である情報技術を活用しながら、社会、経済、人の心まで見据えた感性と総合力で、個の幸せや人間社会の可能性を、限りなく拡張していきます。

- ▼**特色 POINT**
- 【情報×社会課題】興味・関心に応じて情報学の学びをデザイン!
 - 多様な学びを体験する3専攻分野「情報メディア専攻」「知能情報システム専攻」「実践データサイエンス専攻」
 - ハッカソン(Hackathon) ソフトバンク株式会社と連携した社会への実能力を育む取り組み

▼**育成する人材像**

「実践力」「応用力」を有する情報人材を育成

- メディア分野に強い情報処理技術者
- ネットワークやIoTに精通した情報システム技術者
- ビジネス力を備えたデータサイエンティスト

OPEN CAMPUS

3/22(日)

3/22(日) 10:00~12:00

3/22(日) 13:00~15:00

3/22(日) 16:00~18:00

3/22(日) 19:00~21:00

3/22(日) 22:00~24:00

3/22(日) 25:00~27:00

3/22(日) 28:00~30:00

3/22(日) 31:00~33:00

3/22(日) 34:00~36:00

3/22(日) 37:00~39:00

3/22(日) 40:00~42:00

3/22(日) 43:00~45:00

3/22(日) 46:00~48:00

3/22(日) 51:00~53:00

3/22(日) 56:00~58:00

3/22(日) 61:00~63:00

3/22(日) 66:00~68:00

3/22(日) 71:00~73:00

3/22(日) 76:00~78:00

3/22(日) 81:00~83:00

3/22(日) 86:00~88:00

3/22(日) 91:00~93:00

3/22(日) 96:00~98:00

3/22(日) 101:00~103:00

3/22(日) 106:00~108:00

3/22(日) 111:00~113:00

3/22(日) 116:00~118:00

3/22(日) 121:00~123:00

3/22(日) 126:00~128:00

3/22(日) 131:00~133:00

3/22(日) 136:00~138:00

3/22(日) 141:00~143:00

3/22(日) 146:00~148:00

3/22(日) 151:00~153:00

3/22(日) 156:00~158:00

3/22(日) 161:00~163:00

3/22(日) 166:00~168:00

3/22(日) 171:00~173:00

3/22(日) 176:00~178:00

3/22(日) 181:00~183:00

3/22(日) 186:00~188:00

3/22(日) 191:00~193:00

3/22(日) 196:00~198:00

3/22(日) 201:00~203:00

3/22(日) 206:00~208:00

3/22(日) 211:00~213:00

3/22(日) 216:00~218:00

3/22(日) 221:00~223:00

3/22(日) 226:00~228:00

3/22(日) 231:00~233:00

3/22(日) 236:00~238:00

3/22(日) 241:00~243:00

3/22(日) 246:00~248:00

3/22(日) 251:00~253:00

3/22(日) 256:00~258:00

3/22(日) 261:00~263:00

3/22(日) 266:00~268:00

3/22(日) 271:00~273:00

3/22(日) 276:00~278:00

3/22(日) 281:00~283:00

3/22(日) 286:00~288:00

3/22(日) 291:00~293:00

3/22(日) 296:00~298:00

3/22(日) 301:00~303:00

3/22(日) 306:00~308:00

3/22(日) 311:00~313:00

3/22(日) 316:00~318:00

3/22(日) 321:00~323:00

3/22(日) 326:00~328:00

3/22(日) 331:00~333:00

3/22(日) 336:00~338:00

3/22(日) 341:00~343:00

3/22(日) 346:00~348:00

3/22(日) 351:00~353:00

3/22(日) 356:00~358:00

3/22(日) 361:00~363:00

3/22(日) 366:00~368:00

3/22(日) 371:00~373:00

3/22(日) 376:00~378:00

3/22(日) 381:00~383:00

3/22(日) 386:00~388:00

3/22(日) 391:00~393:00

3/22(日) 396:00~398:00

3/22(日) 401:00~403:00

3/22(日) 406:00~408:00

3/22(日) 411:00~413:00

3/22(日) 416:00~418:00

3/22(日) 421:00~423:00

3/22(日) 426:00~428:00

3/22(日) 431:00~433:00

3/22(日) 436:00~438:00

3/22(日) 441:00~443:00

3/22(日) 446:00~448:00

3/22(日) 451:00~453:00

3/22(日) 456:00~458:00

3/22(日) 461:00~463:00

3/22(日) 466:00~468:00

3/22(日) 471:00~473:00

3/22(日) 476:00~478:00

3/22(日) 481:00~483:00

3/22(日) 486:00~488:00

3/22(日) 491:00~493:00

3/22(日) 496:00~498:00

3/22(日) 501:00~503:00

3/22(日) 506:00~508:00

3/22(日) 511:00~513:00

3/22(日) 516:00~518:00

3/22(日) 521:00~523:00

3/22(日) 526:00~528:00

3/22(日) 531:00~533:00

3/22(日) 536:00~538:00

3/22(日) 541:00~543:00

3/22(日) 546:00~548:00

3/22(日) 551:00~553:00

3/22(日) 556:00~558:00

3/22(日) 561:00~563:00

3/22(日) 566:00~568:00

3/22(日) 571:00~573:00

3/22(日) 576:00~578:00

3/22(日) 581:00~583:00

3/22(日) 586:00~588:00

3/22(日) 591:00~593:00

3/22(日) 596:00~598:00

3/22(日) 601:00~603:00

3/22(日) 606:00~608:00

3/22(日) 611:00~613:00

3/22(日) 616:00~618:00

3/22(日) 621:00~623:00

3/22(日) 626:00~628:00

3/22(日) 631:00~633:00

3/22(日) 636:00~638:00

3/22(日) 641:00~643:00

3/22(日) 646:00~648:00

3/22(日) 651:00~653:00

3/22(日) 656:00~658:00

3/22(日) 661:00~663:00

3/22(日) 666:00~668:00

3/22(日) 671:00~673:00

3/22(日) 676:00~678:00

3/22(日) 681:00~683:00

3/22(日) 686:00~688:00

3/22(日) 691:00~693:00

3/22(日) 696:00~698:00

3/22(日) 701:00~703:00

3/22(日) 706:00~708:00

3/22(日) 711:00~713:00

3/22(日) 716:00~718:00

3/22(日) 721:00~723:00

3/22(日) 726:00~728:00

3/22(日) 731:00~733:00

3/22(日) 736:00~738:00

3/22(日) 741:00~743:00

3/22(日) 746:00~748:00

3/22(日) 751:00~753:00

3/22(日) 756:00~758:00

3/22(日) 761:00~763:00

3/22(日) 766:00~768:00

3/22(日) 771:00~773:00

3/22(日) 776:00~778:00

3/22(日) 781:00~783:00

3/22(日) 786:00~788:00

3/22(日) 791:00~793:00

3/22(日) 796:00~798:00

3/22(日) 801:00~803:00

3/22(日) 806:00~808:00

3/22(日) 811:00~813:00

3/22(日) 816:00~818:00

3/22(日) 821:00~823:00

3/22(日) 826:00~828:00

3/22(日) 831:00~833:00

3/22(日) 836:00~838:00

3/22(日) 841:00~843:00

3/22(日) 846:00~848:00

3/22(日) 851:00~853:00

3/22(日) 856:00~858:00

3/22(日) 861:00~863:00

3/22(日) 866:00~868:00

3/22(日) 871:00~873:00

3/22(日) 876:00~878:00

3/22(日) 881:00~883:00

3/22(日) 886:00~888:00

3/22(日) 891:00~893:00

3/22(日) 896:00~898:00

3/22(日) 901:00~903:00

3/22(日) 906:00~908:00

3/22(日) 911:00~913:00

3/22(日) 916:00~918:00

3/22(日) 921:00~923:00

3/22(日) 926:00~928:00

3/22(日) 931:00~933:00

3/22(日) 936:00~938:00

3/22(日) 941:00~943:00

3/22(日) 946:00~948:00

3/22(日) 951:00~953:00

3/22(日) 956:00~958:00

3/22(日) 961:00~963:00

3/22(日) 966:00~968:00

3/22(日) 971:00~973:00

3/22(日) 976:00~978:00

3/22(日) 981:00~983:00

3/22(日) 986:00~988:00

3/22(日) 991:00~993:00

3/22(日) 996:00~998:00

3/22(日) 1001:00~1003:00

3/22(日) 1006:00~1008:00

3/22(日) 1011:00~1013:00

3/22(日) 1016:00~1018:00

3/22(日) 1021:00~1023:00

3/22(日) 1026:00~1028:00

3/22(日) 1031:00~1033:00

3/22(日) 1036:00~1038:00

3/22(日) 1041:00~1043:00

3/22(日) 1046:00~1048:00

3/22(日) 1051:00~1053:00

3/22(日) 1056:00~1058:00

3/22(日) 1061:00~1063:00

3/22(日) 1066:00~1068:00

3/22(日) 1071:00~1073:00

3/22(日) 1076:00~1078:00

3/22(日) 1081:00~1083:00

3/22(日) 1086:00~1088:00

3/22(日) 1091:00~1093:00

3/22(日) 1096:00~1098:00

3/22(日) 1101:00~1103:00

3/22(日) 1106:00~1108:00

3/22(日) 1111:00~1113:00

3/22(日) 1116:00~1118:00

3/22(日) 1121:00~1123:00

3/22(日) 1126:00~1128:00

3/22(日) 1131:00~1133:00

3/22(日) 1136:00~1138:00

3/22(日) 1141:00~1143:00

3/22(日) 1146:00~1148:00

3/22(日) 1151:00~1153:00

3/22(日) 1156:00~1158:00

3/22(日) 1161:00~1163:00

3/22(日) 1166:00~1168:00

3/22(日) 1171:00~1173:00

3/22(日) 1176:00~1178:00

3/22(日) 1181:00~1183:00

3/22(日) 1186:00~1188:00

3/22(日) 1191:00~1193:00

3/22(日) 1196:00~1198:00

3/22(日) 1201:00~1203:00

3/22(日) 1206:00~1208:00

3/22(日) 1211:00~1213:00

3/22(日) 1216:00~1218:00

3/22(日) 1221:00~1223:00

3/22(日) 1226:00~1228:00

3/22(日) 1231:00~1233:00

3/22(日) 1236:00~1238:00

3/22(日) 1241:00~1243:00

3/22(日) 1246:00~1248:00

3/22(日) 1251:00~1253:00

3/22(日) 1256:00~1258:00

3/22(日) 1261:00~1263:00

3/22(日) 1266:00~1268:00

3/22(日) 1271:00~1273:00

3/22(日) 1276:00~1278:00

3/22(日) 1281:00~1283:00

3/22(日) 1286:00~1288:00

3/22(日) 1291:00~1293:00

3/22(日) 1296:00~1298:00

3/22(日) 1301:00~1303:00

3/22(日) 1306:00~1308:00

3/22(日) 1311:00~1313:00

3/22(日) 1316:00~1318:00

3/22(日) 1321:00~1323:00

3/22(日) 1326:00~1328:00

3/22(日) 1331:00~1333:00

3/22(日) 1336:00~1338:00

3/22(日) 1341:00~1343:00

3/22(日) 1346:00~1348:00

3/22(日) 1351:00~1353:00

3/22(日) 1356:00~1358:00

3/22(日) 1361:00~1363:00

3/22(日) 1366:00~1368:00

3/22(日) 1371:00~1373:00

3/22(日) 1376:00~1378:00

3/22(日) 1381:00~1383:00

3/22(日) 1386:00~1388:00

3/22(日) 1391:00~1393:00

3/22(日) 1396:00~1398:00

3/22(日) 1401:00~1403:00

3/22(日) 1406:00~1408:00

3/22(日) 1411:00~1413:00

3/22(日) 1416:00~1418:00

3/22(日) 1421:00~1423:00

3/22(日) 1426:00~1428:00

3/22(日) 1431:00~1433:00

3/22(日) 1436:00~1438:00

3/22(日) 1441:00~1443:00

3/22(日) 1446:00~1448:00

3/22(日) 1451:00~1453:00

3/22(日) 1456:00~1458:00

3/22(日) 1461:00~1463:00

3/22(日) 1466:00~1468:00

3/22(日) 1471:00~1473:00

3/22(日) 1476:00~1478:00

3/22(日) 1481:00~1483:00

3/22(日) 1486:00~1488:00

3/22(日) 1491:00~1493:00

3/22(日) 1496:00~1498:00

3/22(日) 1501:00~1503:00

3/22(日) 1506:00~1508:00

3/22(日) 1511:00~1513:00

3/22(日) 1516:00~1518:00

3/22(日) 1521:00~1523:00

3/22(日) 1526:00~1528:00

3/22(日) 1531:00~1533:00

3/22(日) 1536:00~1538:00

3/22(日) 1541:00~1543:00

3/22(日) 1546:00~1548:00

3/22(日) 1551:00~1553:00

3/22(日) 1556:00~1558:00

3/22(日) 1561:00~1563:00

3/22(日) 1566:00~1568:00

3/22(日) 1571:00~1573:00

3/22(日) 1576:00~1578:00

3/22(日) 1581:00~1583:00

3/22(日) 1586:00~1588:00

3/22(日) 1591:00~1593:00

3/22(日) 1596:00~1598:00

3/22(日) 1601:00~1603:00

3/22(日) 1606:00~1608:00

3/22(日) 1611:00~1613:00

3/22(日) 1616:00~1618:00

3/22(日) 1621:00~1623:00

3/22(日) 1626:00~1628:00

3/22(日) 1631:00~1633:00

3/22(日) 1636:00~1638:00

3/22(日) 1641:00~1643:00

3/22(日) 1646:00~1648:00

3/22(日) 1651:00~1653:00

3/22(日) 1656:00~1658:00

3/22(日) 1661:00~1663:00

3/22(日) 1666:00~1668:00

3/22(日) 1671:00~1673:00

3/22(日) 1676:00~1678:00

3/22(日) 1681:00~1683:00

3/22(日) 1686:00~1688:00

3/22(日) 1691:00~1693:00

3/22(日) 1696:00~1698:00

3/22(日) 1701:00~1703:00

3/22(日) 1706:00~1708:00

3/22(日) 1711:00~1713:00

3/22(日) 1716:00~1718:00

3/22(日) 1721:00~1723:00

3/22(日) 1726:00~1728:00

3/22(日) 1731:00~1733:00

3/22(日) 1736:00~1738:00

3/22(日) 1741:00~1743:00

3/22(日) 1746:00~1748:00

3/22(日) 1751:00~1753:00

3/22(日) 1756:00~1758:00

3/22(日) 1761:00~1763:00

3/22(日) 1766:00~1768:00

3/22(日) 1771:00~1773:00

3/22(日) 1776:00~1778:00

3/22(日) 1781:00~1783:00

3/22(日) 1786:00~1788:00

3/22(日) 1791:00~1793:00

3/22(日) 1796:00~1798:00

3/22(日) 1801:00~1803:00

3/22(日) 1806:00~1808:00

3/22(日) 1811:00~1813:00

3/22(日) 1816:00~1818:00

3/22(日) 1821:00~1823:00

3/22(日) 1826:00~1828:00

3/22(日) 1831:00~1833:00

3/22(日) 1836:00~1838:00

3/22(日) 1841:00~1843:00

3/22(日) 1846:00~1848:00

3/22(日) 1851:00~1853:00

3/22(日) 1856:00~1858:00

3/22(日) 1861:00~1863:00

3/22(日) 1866:00~1868:00

3/22(日) 1871:00~1873:00

3/22(日) 1876:00~1878:00

3/22(日) 1881:00~1883:00

3/22(日) 1886:00~1888:00

3/22(日) 1891:00~1893:00

3/22(日) 1896:00~1898:00

3/22(日) 1901:00~1903:00

3/22(日) 1906:00~1908:00

3/22(日) 1911:00~1913:00

3/22(日) 1916:00~1918:00

3/22(日) 1921:00~1923:00

3/22(日) 1926:00~1928:00

3/22(日) 1931:00~1933:00

3/22(日) 1936:00~1938:00

3/22(日) 1941:00~1943:00

3/22(日) 1946:00~1948:00

3/22(日) 1951:00~1953:00

3/22(日) 1956:00~1958:00

3/22(日) 1961:00~1963:00

3/22(日) 1966:00~1968:00

3/22(日) 1971:00~1973:00

3/22(日) 1976:00~1978:00

3/22(日) 1981:00~1983:00

3/22(日) 1986:00~1988:00

3/22(日) 1991:00~1993:00

3/22(日) 1996:00~1998:00

3/22(日) 2001:00~2003:00

3/22(日) 2006:00~2008:00

3/22(日) 2011:00~2013:00

3/22(日) 2016:00~2018:00

3/22(日) 2021:00~2023:00

3/22(日) 2026:00~2028:00

3/22(日) 2031:00~2033:00

3/22(日) 2036:00~2038:00

3/22(日) 2041:00~2043:00

3/22(日) 2046:00~2048:00

3/22(日) 2051:00~2053:00

3/22(日) 2056:00~2058:00

3/22(日) 2061:00~2063:00

3/22(日) 2066:00~2068:00

3/22(日) 2071:00~2073:00

3/22(日) 2076:00~2078: